

# 平成 23 年度 第 3 回

## 情報配線施工技能検定

### 3 級ペーパー実技試験問題

#### ■注意事項■

1. 受検番号と氏名を下記記入欄に必ず記入して下さい。
2. 解答用紙の記入に当たっては、次の指示に従ってください。指示に従わない場合には採点されません。
  - (1) 解答用紙はOCR方式ですので、所定の口の枠からはみ出さないように、1文字ずつ記入してください。
  - (2) 受検番号欄には、必ず受検票に記載されている番号を記入してください。
  - (3) 氏名欄には、必ず受検票と同様に記入してください。
  - (4) 解答は濃度HB程度の鉛筆を使用してください。解答を訂正する場合は消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないでください。
3. 受検票は、試験時間中は必ず、試験監督官が見やすい机の上の通路側の位置に提示しておいてください。
4. 試験時間終了時には、解答用紙を回収します。
5. 試験問題に関する質問にはお答えできません。
6. そのほか、いかなる場合でも試験監督官の指示に従って、受検してください。

**第1問（光ファイバ融着接続作業関連問題）**

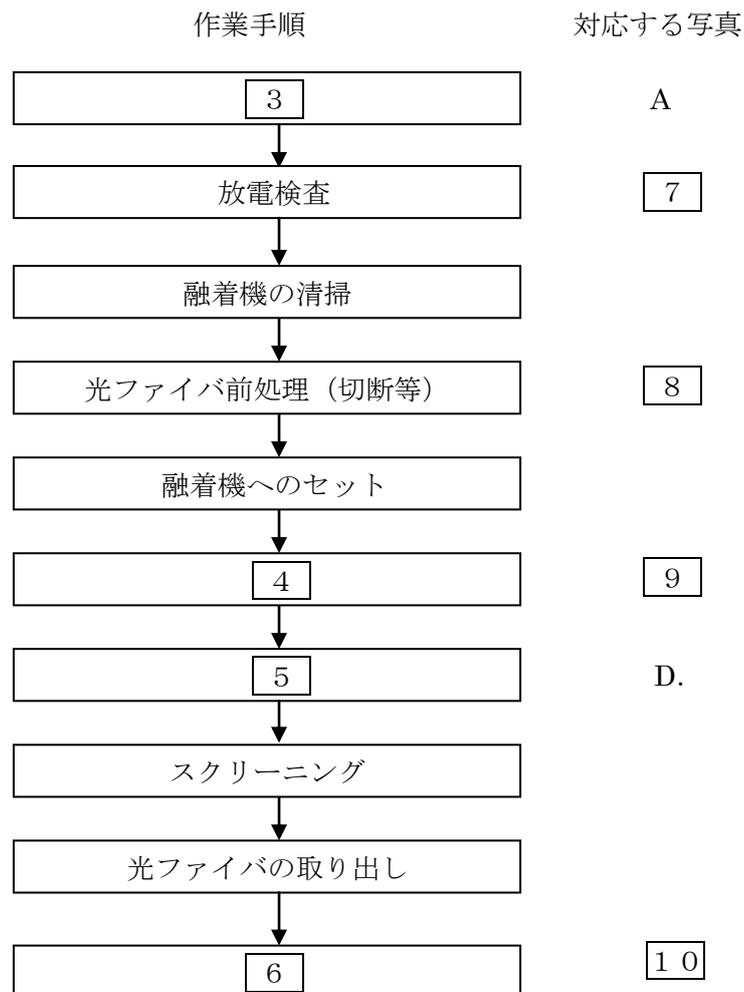
次の各設問の該当番号内に、それぞれの語群と写真群の中から最も適したものを1つ選び、その番号を該当番号の解答欄に記せ。

(ア) 光融着接続法は、他の接続法と比べて [ 1 ] で接続でき、主に [ 2 ] の光線路で用いられている。

**【語群】**

- |         |           |         |
|---------|-----------|---------|
| 1. 高い損失 | 2. 中程度の損失 | 3. 低い損失 |
| 4. 長い距離 | 5. 短い距離   | 6. 広帯域  |

(イ) 次に示す融着接続作業の手順の作業名、対応写真の空欄を埋めよ。なお、作業の中には、融着接続機が自動で行うものも含まれることがある。



【作業手順の語群】

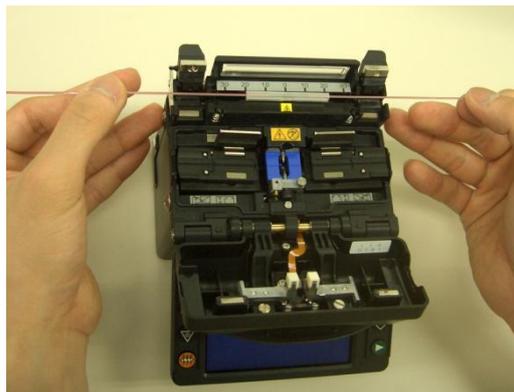
1. 補強（スリーブ加熱）
2. 融着接続（調心）開始
3. 推定損出算出
4. 融着パラメータの設定

【対応する写真群】

A.



B.



C.



D.



E.



F.



(ウ) 融着接続作業で、注意しなければならないことのうち、間違っているものは【11】と【12】である。

【語群】

1. 融着機の接続パラメータは、光ファイバの種類が変わっても絶対に変えないこと。
2. 接続前に補強スリーブが心線に挿入されていることを確認すること。
3. 光ファイバ端面同士をできるだけ近づけて融着機へ固定すること
4. 光ファイバの端面の欠けなどがないように光ファイバの状態に気をつけること。
5. 光ファイバを良くクリーニングすること。
6. 光ファイバを強く曲げないように気をつけること

(エ) 図の作業は、光ファイバの【13】であり、その際に使用する液体は【14】である。また、この作業時において注意しなければならないことは、【15】である。



図

【13】の語群】

1. 検査
2. 清掃
3. 分離
4. 接続

【14】の語群】

1. 水
2. アルコール
3. シンナー
4. 特に指定はない

【15】の語群】

1. 光ファイバ心線を強く曲げないように注意すること。
2. 光ファイバ心線は弱い力で拭くこと。
3. 乾いたワイプ紙で拭くこと。
4. テープ心線の場合は、心線毎にばらして拭くこと。

第2問（情報配線施工機材・部材問題）

次の表の該当番号内に、それぞれの語群の中から最も適したものを1つ選び、その番号を該当番号の解答欄に記せ。

表

名称	パッチパネル	情報用分電盤	16
写真	17	18	
用途	19	20	UTP ケーブルの成端部材として最もよく用いられているコネクタ

【16】の語群】

1. BNC コネクタ
2. モジュラコネクタ
3. F型コネクタ
4. SC コネクタ

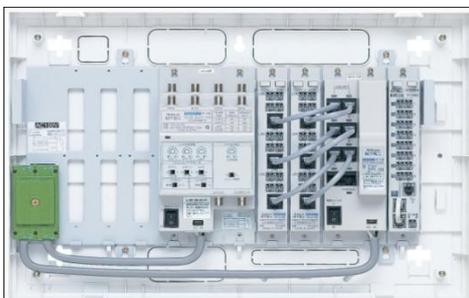
【17、18】の写真群】



1.



2.



3.



4.

【19、20の語群】

1. 同軸ケーブル用のコネクタ
2. 宅内 LAN 配線、電話配線及びテレビ用配線に必要な機器を一つにまとめた盤
3. UTP ケーブルの成端部材として最もよく用いられているコネクタ
4. 複数のポートを横に配置しケーブルの接続変更や保守が簡単にできる部材
5. 光ファイバ心線を接続するために使用する部材
6. 現在最も普及している光コネクタ